

正月著書天覽の報を受けた林子平私日記を説く
子平より醫家社人藤澤氏に告げ、天覧の報を受けた林子平は、

蝦夷拾遺 越後人本多利明撰
利明、和蘭の門を叩き、其の地を踏み、其の風俗を記し、

和蘭人より風船國主長崎奉行に贈呈

和蘭人より風船國主長崎奉行に贈呈
和蘭人より風船國主長崎奉行に贈呈
和蘭人より風船國主長崎奉行に贈呈

中川作百三十九
寛政元年己酉

三月和蘭甲必丹江戸側参 以後五年一考と定む
伊勢人安岡至真 大坂人橋本宗吉 郡土海士山打才助

前後相繼、大槻玄澤の門に和蘭文字を修む
和蘭文字を修む
和蘭文字を修む

痛醫新書

痛醫新書 杉田玄白起草 大槻玄澤翻譯
杉田玄白起草 大槻玄澤翻譯

和蘭築城書

和蘭築城書 前野良澤承和蘭築城書
前野良澤承和蘭築城書

和蘭船隻

和蘭船隻 林子平撰出
林子平撰出

幕府天文方山路才助三郎七曜曆を作成臣進
十一月阿蘭陀大通訓本林大夫の命ありて地球球用法
記す和解也一全篇七百三十五字并附註一巻

和蘭文書和解相違の科々長崎通訓七人其職を奪り
中三郎吉雄左七郎今村金兵衛西宮五郎加藤安次郎
大通訓吉雄左七郎今村金兵衛西宮五郎加藤安次郎
中三郎吉雄左七郎今村金兵衛西宮五郎加藤安次郎

梅南翁の北窓叢談其の防前院大通訓役吉雄左七郎の家
才多の學一屋敷を別と敷及三二階と板敷青漆塗り
階子探干等と設けたり余吉雄の守り守り守り守り守り

四月海國兵談宛刺二十六卷 蘭文抄註
地球全圖 幕府待醫桂川南園撰
大體全圖 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註

蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註
蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註

四月西説内科撰安 宇田川玄庭譯
蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註

閏二月田幡藩醫孫村三伯江戶出て和蘭學と大槻玄澤
の門に修む 上り安岡橋本山村三郎と出たり

五月春書出板の科々以て林子平仙臺聖君の愛読書と
清徳成子平未出但十五年中一四一注一時消滅す

九月普西亞國航海根室港より漂流して返り通文主未
深川ハ伊勢白子海舟大津藩に在りて天明二年

十一月天文方山路才助の命ありて茶積曆を依り試み
一曆之作らば 明年二月既二冊成

十一月杉田白前野浪二師喜宴大槻玄澤作文述其功業
今杉田白前野浪二師喜宴大槻玄澤作文述其功業

蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註
蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註

蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註
蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註 蘭文抄註

九月家齊將軍一書國返付の源氏改吉幸大夫江戶城内

吹上苑召親しく彼國の風俗情況を聞く
諸藩年表 西國年表 諸藩年表 西國年表
大垣藩 江馬藩 江馬藩 江馬藩

桂川甫周撰 前野良澤記
地球全圖略説 司馬江漢撰
大西征地方 大槻玄澤撰

蘭譯弁登 宇田川玉應撰
大西征地方 大槻玄澤撰
法と説述 七上 其稿成りて及ぼすて致す

四月和蘭甲必丹 江戸参府 五月桂川雲本

法江醫官及石川大物宇田川森島諸公蘭人家館
参集して岐義質問 外科醫官トシテ

桂川甫周撰 西亞略記
大槻玄澤編 上卷 西亞略記

七月長崎大通訓本 仁大夫死子元吉 嗣小通訓

蘭學會盟列 惟寛甲寅十一月廿五日 蘭學會盟列
十一月十一日大槻玄澤始て大陽曆元旦宴を開く

四村老長子... 桂川甫周撰

本誌... 桂川甫周撰

寅曆餘曆四十餘年天步曆本又三刻之差...

蘭學佩佩 芝蘭堂學生用小帖子 吉雄幸作譯...

和蘭學之普及... 和蘭學之普及...

正月和蘭天地圖 司馬江漢自寫銅版... 和蘭學之普及...

